

津波ハザードマップ⑤

凡例

- 津波避難ビル
 - 市町郡界
 - 地下道・架道橋
 - 町丁界・大字界
 - 避難方向
 - 防災行政無線
 - 10m以上の基準水位 (3階建ての建物が水没する目安)
 - 5.0~9.9mの基準水位 (2階建ての建物が水没する目安)
 - 0.1~4.9mの基準水位
- ※基準水位の算出に用いた「地形(標高)データ」は、平成24年度時点の海岸における3D電子地図、基盤地図情報等をもとに作成しているため、その後の開発に伴う地形変化に伴い、土地の形状や地盤高が現況と異なる場合があります。

基準水位のイメージ

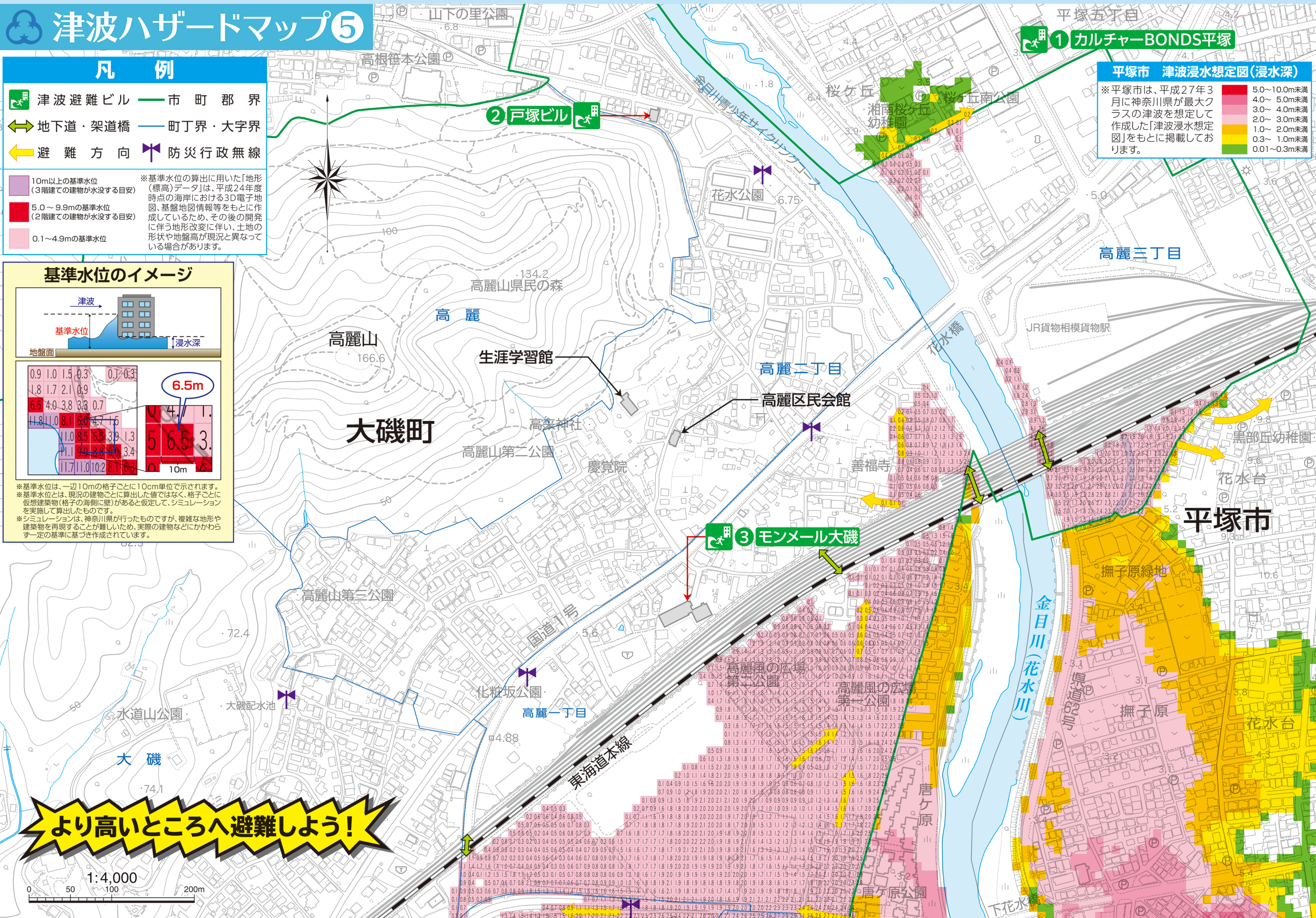
0.9	1.0	1.5	0.3	0.7	0.3
1.8	1.7	2.1	0.9		
6.6	4.0	3.8	3.3	0.7	
11.8	11.0	8.1	6.0	4.7	1.5
11.0	8.5	6.5	3.9	1.3	
11.1	9.9	8.8	6.0	3.4	
11.7	11.0	10.2	8.1	6.8	

※基準水位は、一辺10mの格子ごとに10cm単位で示されます。
 ※基準水位とは、現況の建物ごとに算出した値ではなく、格子ごとに仮想建築物(格子の海側に壁)があると仮定して、シミュレーションを実施して算出したものです。
 ※シミュレーションは、神奈川県が行ったものですが、複雑な地形や建築物を再現することが難しいため、実際の建物などにかかわらず一定の基準に基づき作成されています。

平塚市 津波浸水想定図(浸水深)

※平塚市は、平成27年3月に神奈川県が最大クラスの津波を想定して作成した「津波浸水想定図」をもとに掲載しております。

5.0~10.0m未満
4.0~5.0m未満
3.0~4.0m未満
2.0~3.0m未満
1.0~2.0m未満
0.3~1.0m未満
0.01~0.3m未満



より高いところへ避難しよう!

着色されていない場所でも、浸水が起きる可能性があります。「ここは大丈夫」と考えず、とにかく高いところ(黄色の矢印の方向)に避難しましょう!